第7回 西新宿地区再整備方針検討委員会

1. 日時・場所

令和5年3月17日（金） 14:00～16:00

都庁第二本庁舎31階特別会議室21 +オンライン併用開催

2. 出席者

別紙 出席者名簿のとおり

3. 議題

・報告

- (1) 西新宿懇談会からの主な意見
- (2) 第6回委員会の主な意見と対応
- (3) 意見募集の結果及び対応について
- (4) 西新宿地区再整備方針について

・議事

- (1) 今後の検討体制と進め方について
- (2) 西新宿地区再整備方針検討委員会設置要綱の改定について

4. 配布資料

次第

[資料1]西新宿地区の再整備に向けた今後の検討体制と進め方

[資料2]西新宿地区再整備検討委員会設置要綱 改定（案）

[参考1]西新宿懇談会からの主な意見

[参考2]第6回西新宿地区再整備方針検討委員会の主な意見と対応

[参考3]「西新宿地区再整備方針」（素案）の意見募集の結果について

[参考4]西新宿地区再整備方針（案）

[参考5]これまでの資料のとりまとめ

[参考6]FUN MORE TIME SHINJUKU（ファンモアタイム新宿）の実施状況

5. 議事録

<報告>

- (1) 西新宿懇談会からの主な意見
(事務局より資料説明（参考1）)
- (2) 第6回委員会の主な意見と対応
(事務局より資料説明（参考2）)
- (3) 意見募集の結果及び対応について
(事務局より資料説明（参考3）)
- (4) 西新宿地区再整備方針について
(事務局より資料説明（参考4・参考5・参考6）)

<議 事>

(1) 今後の検討体制と進め方について

(事務局より資料説明 (資料1・机上配布))

(2) 西新宿地区再整備方針検討委員会設置要綱の改定について

(事務局より資料説明 (資料2))

【岸井会長】

- 都庁にどのような人がどのくらい、何の目的で来ているのか等の情報は収集しているのか。

【事務局】

- 大まかな来庁人数は把握しているが、来庁の目的・属性までは抑えられていない。

【岸井会長】

- 展望台に訪れる人数などは把握しているのか。

【東京都 財務局 建築保全部長 鈴木委員】

- 展望室は一時期コロナの接種会場とするため、閉鎖していたが、昨年9月より、南側限定でオープンしている。コロナも収まってきており、本年1～3月で月平均6～7万人、土曜日であれば約4000人が訪れる。インバウンドの来庁者も増えており、朝10時ごろには行列ができています。それ以外は窓口や打合せを目的とした来庁が主である。その他、食堂の利用者などもおり、所感では、1日に1万人以上の出入りがあると考えます。

【岸井会長】

- インバウンド客はどのようなルートで訪れるのか。

【東京都 財務局 建築保全部長 鈴木委員】

- 基本的には団体ツアーの形で来庁してきており、都庁周辺にバスを停めてくる形である。概ね、1団体で30名程度という感触である。

【岸井会長】

- 展望台のみ訪れ、そのまま帰ってしまう人が多いのか。

【東京都 財務局 建築保全部長 鈴木委員】

- 多くの来庁者は展望台のみ訪れ、帰ってしまう。今後、低層部に滞在するスペースを整備できるかで印象も変わるだろう。

【伊藤副会長】

- 「西新宿懇談会からの主な意見」について、新宿ならではの匂いを重視すべきという意見があり、また、パブコメでも都市の特性を読み解くべきとの意見があった。西新宿地区の特徴について、再整備方針の中やこれまでの委員会資料の取りまとめなどで整理はされているが、ハードの特徴の整理に留まっているところがあり、個人的にも反省すべき点であると考えている。今後の検討の中では、西新宿地区で育まれてきた文化や今後育むべき文化・過ごし方にも踏み込んでいくべきと考える。
- イベントの先の段階として、日常的に使われるような、居心地がよく人々に使いこなされる空間となり、西新宿ならではの過ごし方が育ってくると良い。西新宿のまちは多くの人々が訪れるエリアであり、ニーズはあると思われるため、ちょっとした時間も過ごせる空間のあり方についても考えられると良い。

【岸井会長】

- 西新宿のまちの動きと合わせて、新宿中央公園も変えていく予定はあるのか。

【事務局】

- 新宿区で策定している「新宿中央公園魅力向上プラン」に基づき再整備を行っている最中である。今後の動きとしては、花のもりの再整備を進める予定である。

【岸井会長】

- 新宿中央公園は都庁に隣接するエリアとなるが、公園のマネジメントや環境改善委員会によるまち全体のマネジメントの動きがバラバラにならないように留意頂きたい。誰が主体となってマネジメントを進めていくのか。

【事務局】

- ご指摘の内容について、現時点で体制を整理できていないが、公園や都庁は行政が主体に関わると考えている。まち全体としてどのように統率していくかは継続して検討していく。

【岸井会長】

- 環境改善委員会として考えはあるか。

【一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事 小林委員】

- 社会実験の実施を通し、官民にわたる公共スペースの活用の方法および継続的な運用管理のためのマネジメント体制、人員と財源の確保の仕方などについて検討を継続する。

【岸井会長】

- 社会実験は来年度も実施するのか。

【一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事 小林委員】

- 来年度についても実施する方向で準備を進めている。

【岸井会長】

- 社会実験については、新宿中央公園も含め、まち全体での取組として検討・実施できるとよい。また、そのような取組を通して、最終的にはまち全体でのマネジメントを行う上での、維持・管理の体制について考えて頂きたい。

【吉村委員】

- 資料3について、Wi-Fiの環境整備の要望が出されているが、前向きに検討してほしい。Wi-Fiを整備することの意義について、1点目として、まちで滞在する上での利便性が向上する事、2点目としては、まちで活動する人のデータを取得することが可能なことが挙げられる。Wi-Fiのポートがメッシュで配置できるとよい。参考までに、スペインのバルセロナでは市内に約500カ所のWi-Fiを行政主体で整備している。西新宿のまちでも同様の環境が展開されると良い。

【東京都 デジタルサービス局 ネットワーク整備担当部長 村上委員】

- 今後、公共フリーWi-Fiの充実を図っていく方向で検討を進めている。利便性向上の観点に加え、防災の観点からも重要と考えており、展開に向けた方針について検討中である。
- また、西新宿地区内には、「スマートポール」の設置も進めている。スマートポールで取得したデータをまちづくりに生かす上で、コンソーシアムを立ち上げているが、来年度以降、本検討委員会・部会との連携も視野に入れ検討を進めていく。

【岸井会長】

- 人流データの活用もあるが、車両の交通量・駐車場の利用状況等のデータも活用し、車の流れもコントロールできるシステムを構築できると良いと考える。

【国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長 田雑委員】

- 再整備方針における空間整備の取組に関して、4号街路を中心に公開空地と一体に再編していくこととされているが、これほどダイナミックに再編する事例は他になく期待している。一方で、地形の高低差などハード面の条件に課題があり、再整備にあたっては街路側との緊密な連携が必要であると思う。
- また、再整備方針における環境・防災の取組に関して、エネルギーの脱炭素化等についても記載されているが、本委員会で十分議論されていない印象もある。西新宿地区は地域冷暖房の歴史も古く、リニューアルも行われつつある状況であると聞いている。また、オフィスビル・ホテル・病院など、熱需要が大きい施設が集中している印象であるため、エリアでの脱炭素の取組みについてはかなり優位性があると思込込である。他地区の事例を見ても、需要と供給をデータによって適切に管理し、エネルギーの有効化を進めている地区は個人的には無いと考えており、そういった所も検討が進められると良い。

【事務局】

- 現状としては、東京ガスが当地区の地域冷暖房の運営を行っている。一方で需要と供給の最適化は行えておらず、エネルギーロスが発生している状況である。街区地権者側としてはセキュリティ上の問題で熱事業者への情報共有が十分に図れていないが、実験的に熱事業者側で検討を進めているという状況である。

【警視庁 交通部 交通規制課 都市交通管理室長 中川委員】

- 交通管理者の立場としては、歩行者の安全性や次世代モビリティの運用等が管轄となるが、楽しく安全に歩ける歩行者空間を整備していく上では、歩車分離の考え方を議論していく必要があるだろう。次世代モビリティの運用に向けては、まず具体の計画を立案頂き、議論に積極的に関わっていききたい。

【岸井会長】

- 「新宿の匂いを活かしたまちづくり」は難しい宿題であると感じる。新宿西口広場の改修に対する意見もあったが、以前から計画自体は公表しているものの、あまり大きな話題となっていない。住民などの地元の人が少ないことも一因としてある。うまく周辺の人々を巻き込んで、まち全体を再編していく必要があるだろう。

【一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事 小林委員】

- 西新宿のまちには、選挙権を持つ人（居住者）は少ないが、ワーカーは多い。そういった中、ワーカーのまちに対する思いなどをどう引き出すかについては、デジタルの力も活用するなど工夫が必要である。普段はまちなかに人が少ないが、年二回まちの掃除大会を実施しており、早朝にも関わらず、1000人以上の人々が一堂に介する姿も見られる。ワーカーが地域に関わることができるコミュニティをどのように作るかが重要であると考えている。

【伊藤副会長】

- 都民広場について、様々な来街者がいる中で、都庁の職員も多くいるため、職員自らがまちの一員として、まちに関わる文化が生まれるとよい。

【岸井会長】

- 渋谷が発展したのはNHKが立地していることが大きいと考えている。東京オリンピック時にNHKが渋谷に立地したが、当時はテレビが文化の最先端であり、そこで働くNHKの職員が渋谷の街に活気を与えていたと感じる。都庁の職員もどんどん最先端の取組に参画していくことが必要かもしれない。

〔東京都 デジタルサービス局 ネットワーク整備担当部長 村上委員〕

- スマートシティ協議会では、意見交換会としてラインコミュニティを設立し、まちのユーザーの声を集めている。これまで5回ほど実施しているが、参加者は多くはないといった課題がある。特徴として、住民の方が多いい傾向がある。住民の方々としても、西新宿の超高層エリアに対して想いを持っており、社会実験に向けてのアイデアなども集約できると良い。また、西新宿のまちの特徴として、学生も多く、商店街もあるため、様々なコミュニティに声がけしながら進めていきたい。

〔一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事 小林委員〕

- 新宿中央公園の西側については、再開発等により住民が増えている。新宿中央公園は周辺住民中心に来街者が増加しているとのことであるが、それらの人々の特性や西新宿のまちへの思いをリサーチできるとよい。

〔吉村委員〕

- 新宿中央公園に整備されているスマートポールでもデータを把握できるのではないか。うまく活用できると良い。

以 上

第7回 西新宿地区再整備方針検討委員会 出席者名簿

職	所属・役職等	備考
会長	政策研究大学院大学 客員教授 岸井隆幸	
副会長	東京理科大学 理工学部建築学科 教授 伊藤香織	
委員	埼玉大学 理工学研究科 環境科学・社会基盤部門 准教授 小嶋文	
〃	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授 池邊このみ	欠席
〃	東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授 吉村有司	
〃	東京都 都市整備局 先端技術調整担当部長	
〃	東京都 都市整備局 まちづくり調整担当部長	
〃	東京都 都市整備局 都市基盤部長	欠席
〃	東京都 都市整備局 交通政策担当部長	
〃	東京都 建設局 企画担当部長	
〃	東京都 デジタルサービス局 ネットワーク整備担当部長	
〃	新宿区 みどり土木部長	
〃	新宿区 都市計画部 新宿駅周辺整備担当部長	
〃	一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 技術担当理事	
オブザーバー	国土交通省 都市局 都市計画課 都市計画調査室長	
〃	国土交通省 都市局 街路交通施設課 街路事業調整官	
〃	警視庁 交通部 交通規制課 都市交通管理室長	
〃	東京都 財務局 建築保全部長	欠席
〃	東京都 財務局 庁舎運営担当部長	
〃	東京都 建設局 道路管理部長	
〃	東京都 建設局 道路保全担当部長	
〃	東京都 交通局 バス事業経営改善担当部長	
(事務局)	東京都 都市整備局 都市づくり政策部 開発企画課 東京都 都市整備局 都市基盤部 街路計画課 新宿区 新宿駅周辺整備担当部 新宿駅周辺基盤整備担当課 新宿区 新宿駅周辺整備担当部 新宿駅周辺まちづくり担当課	